

今後の住環境についての意識調査

政府はこれまでの住宅の供給戸数を目標とした新築中心の住宅政策から、「既存住宅を循環させて活用する（ストック重視）」という住生活政策へ大きく方向転換いたしました。ここでは、現在住まわれているご自宅や今後の住環境に対する意識についてまとめました。

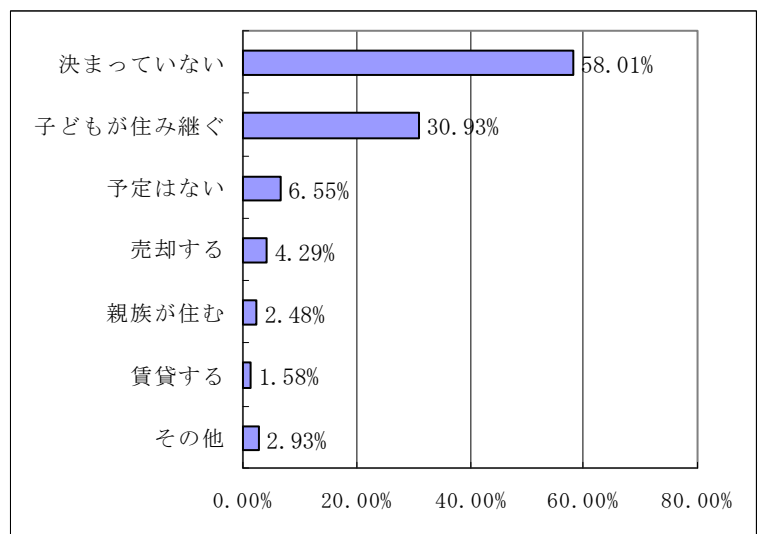
■ 住み継ぐ予定について

設問

現在住まわれているご自宅について、今後住み継がれる予定はありますか？（複数回答）

<住み継ぐ予定>

	件数	%
決まっていない	257	58.01%
子どもが住み継ぐ	137	30.93%
予定はない	29	6.55%
売却する	19	4.29%
親族が住む	11	2.48%
賃貸する	7	1.58%
その他	13	2.93%
無回答	2	0.45%



<子どもとの同居と住み継ぐ予定の関係>

子どもと同居している

	件数	%
子どもが住み継ぐ	96	38.55%
決まっていない	135	54.22%
その他	18	7.23%
合計	249	

子どもと同居していない

	件数	%
子どもが住み継ぐ	41	21.24%
決まっていない	111	57.51%
その他	41	21.24%
合計	193	

■ 住み継ぐ予定「決まっていない」58.01%

上記のとおり、現在住んでいる家屋の住み継ぐ予定が決まっていないと答える方が58.01%で、多くの家は住み継がれる予定が決まっていない結果となりました。

また子どもと同居しているにも関わらず、今後の予定が決まっていないと回答する割合が半数を超えました。

さらに、子どもと同居していない世帯のうち57.51%が今後の予定が決まっておらず、これらの家屋は現在住んでいる方が亡くなったあとに空き家になる可能性が高いと言えます。

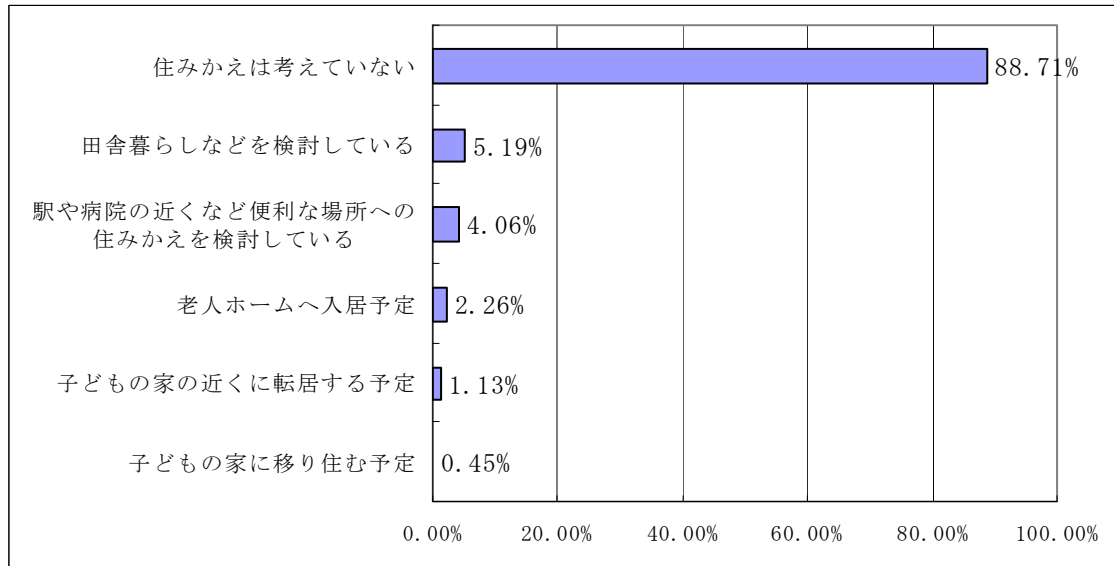
■ 住みかえについて

設問

● 今後、現在お住まいの場所から住みかえられることを検討されていますか？（複数回答）

<住みかえについて>

	件数	%
住みかえは考えていない	393	88.71%
田舎暮らしなどを検討している	23	5.19%
駅や病院の近くなど便利な場所への住みかえを検討している	18	4.06%
老人ホームへ入居予定	10	2.26%
子どもの家の近くに転居する予定	5	1.13%
子どもの家に移り住む予定	2	0.45%



■ 「住みかえは考えていない」88.71%。求められる住生活環境の提案

上記結果のとおり、「住みかえを考えていない」と答える方の割合はおよそ9割にのぼりました。ライフステージによってふさわしい住環境は変化するものではありませんが、住環境の変化にかかるコスト面の問題から、「ライフスタイルに住環境を合わせる」のではなく、「住環境にライフスタイルを合わせる」という考え方が一般的になっているようです。費用面で負担をかけず、現状のライフスタイルに即した住環境を提案することも、今後の事業者求められることといえそうです。

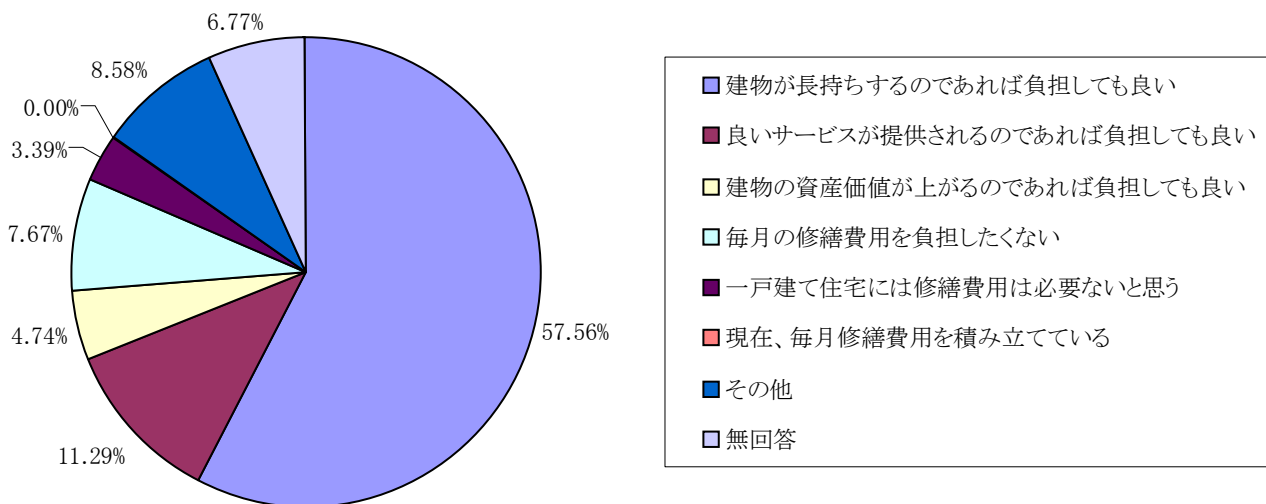
■ 一戸建て住宅の修繕費用について

設問

●一戸建ての修繕費用について、ご自身のお考えに最も近いものを一つ選択して下さい。

<一戸建て住宅の修繕費用について>

	件数	%
建物が長持ちするのであれば負担しても良い	255	57.56%
良いサービスが提供されるのであれば負担しても良い	50	11.29%
建物の資産価値が上がるのであれば負担しても良い	21	4.74%
毎月の修繕費用を負担したくない	34	7.67%
一戸建て住宅には修繕費用は必要ないと思う	15	3.39%
現在、毎月修繕費用を積み立てている	0	0.00%
その他	38	8.58%
無回答	30	6.77%
合計	443	



■ 費用負担をしても良い 7割を超える

家屋が長持ちする、良いサービスが提供される、建物の資産価値が上がるなど、何らかのメリットがあるのであれば、一戸建ての修繕費用を負担をしても良いと回答する方が全体の7割を超えています。

一戸建て住宅では定期的な点検が実施されていないケースが多く、早期に発見できれば少ない金額で修繕できるにもかかわらず、大きな問題になるまで放置するケースが多いのも事実です。

現在、一戸建て住宅を対象とした、家屋を長持ちさせることを目的としたサービスはほとんど提供されておらず、事業者による消費者への提案が求められています。

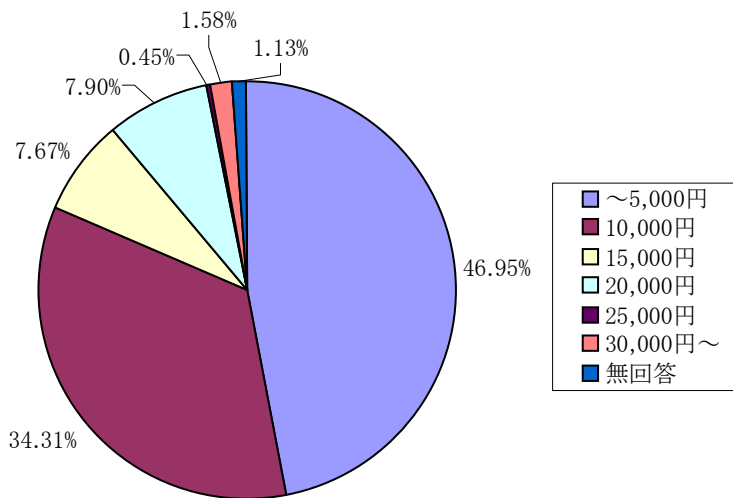
■ 一戸建て住宅の修繕費用について

設 問

●今後の一戸建て住宅の維持管理の具体的な方法として、年1回の定期点検の実施や住宅の改修・メンテナンス履歴の蓄積などが考えられていますが、毎月の費用負担として妥当だと思われる額を一つ選択して下さい。

<一戸建て住宅の修繕費用として毎月負担しても良い金額>

	件数	%
5,000円未満	208	46.95%
10,000円程度	152	34.31%
15,000円程度	34	7.67%
20,000円程度	35	7.90%
25,000円程度	2	0.45%
30,000円以上	7	1.58%
無回答	5	1.13%
合計	443	



■ 毎月10,000円以上の修繕費を支払ってもよいという意見が過半数

建物の維持管理にかけられる毎月の費用については、「10,000円以上」という回答が過半数にのびりました。現在は事業者によるサービスがほとんど提供されておらず、定期的な管理をしていない家屋がほとんどですが、住宅の維持・管理には消費者も関心を寄せており、具体的なサービスの提供が求められています。